

佐倉市議会だより



2022年2月1日
(令和4年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



目次 本会議の概要、行政視察の概要…P 1、一般質問…P 2～5、主な議案の概要…P 5、議案賛否一覧…P 6、議案に対する会派等の意見…P 7、委員会報告、2月定例会の予定…P 8

11月定例会

会期 11月22日～12月13日

令和3年度補正予算など 24議案を可決・同意

子育て世帯臨時特別給付金(先行給付金)
生活困窮者自立支援金を支給

オンラインで行政視察を行いました

令和3年度は、コロナ禍における新たな取り組みとして、初めてオンライン形式による行政視察を実施しました。



総務常任委員会 ファシリティマネジメントと公民連携の 取り組みについて(岡山県津山市)

津山市では、伝統的建造物を宿泊施設として整備し、民間の事業者が運営する取り組みなど、公民が連携して公共施設の管理運営を行っている。自治体全体を経営する視点で戦略的に考え、小さな取り組みを積み重ねることが重要であることを学んだ。



文教福祉常任委員会 終活サポートセンター事業について (福岡県福岡市)

福岡市社会福祉協議会では、孤独死の問題が全国的な広がりを見せる中、終活に関する総合的な支援を行っている。身寄りのない高齢者等が亡くなった時に、社協があらかじめ預かった預託金の範囲内で葬儀や家財処分などの死後事務を代理で行う「ずーっとあんしん安らか事業」等の取り組みについて学んだ。



経済環境常任委員会 狭山市ビジネスサポートセンター Saya-Bizについて(埼玉県狭山市)

狭山市ビジネスサポートセンターでは、中小企業・小規模事業者の抱える様々な経営課題解決と売り上げ拡大に向けた支援を行うビジネスコンサルティング事業を展開している。事業導入の経緯及び事業費や実務面からの実績、具体的サポート例について学んだ。



建設常任委員会 グリーンスローモビリティの活用について (広島県尾道市)

尾道市では、「グリーンスローモビリティを核とした環境配慮型モビリティ連携による次世代観光まちづくり」が、国の実証事業として採択された。共同実施事業者を含めた事業の体制、スケジュールや運行ルート、IoT導入のねらい、事業の効果や課題と今後の展望について学んだ。



議会運営委員会 議会のICT化について(神奈川県秦野市)

秦野市議会では、議会運営の効率化や情報発信力の向上等を目的とし、平成28年にタブレット端末の導入と大型スクリーンを議場に設置している。その導入までの経過や導入経費、今後の課題等について学んだ。



佐倉市議会は、11月22日から12月13日までの22日にわたり、令和3年11月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和3年度佐倉市一般会計補正予算」など議案23件と諮問1件が提出され、審議の結果、いずれも可決・同意しました。議員提出議案については、「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など9件がそれぞれ提出され、審議しました。また一般質問には各会派の代表質問に6人、個人質問に6人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

【議案第1号】

- ・中小企業エール事業(1億3,478万6千円)
1事業者につき10万円、市独自支援。※時短協力金受給事業者対象外。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業(14億2,803万8千円)
3回目のワクチン接種体制の整備。
- ・明神橋(6-108号線)災害復旧費(9,052万円)
工事の実施に伴う民間事業者所有施設移設費用。
※関連議案：議案第15号契約の締結、発議案第9号(詳細は5ページ)

議案を pickup!

【議案第23号】(詳細は5ページ)

- ・子育て世帯臨時特別給付金支給事業(先行給付金)(11億5,359万7千円)
18歳以下の児童1人当たり5万円。(12月臨時会で追加支給)
- ・生活困窮者自立支援金支給事業(7,486万4千円)※支給対象要件の拡大
1人世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円。

【議案第5号・6号】特別職、一般職職員の期末手当を0.15月分引下げ。再任用職員等については、0.1月分引下げ。

【発議案第1号】議員の期末手当について、0.15月分引下げ。

12月臨時会

子育て世帯・住民税非課税世帯等へ給付金早期支給のため臨時会を開催

佐倉市議会は、12月23日(木)に臨時会を開催しました。議案は、住民税非課税世帯等及び子育て世帯に対する臨時特別給付金事業に係る補正予算1件で全会一致で可決しました。

- ・住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円支給(20億4,666万4千円)
- ・18歳以下の児童1人当たり、11月定例会で議決した先行給付金5万円と合わせ、現金10万円を一括支給。なお、児童手当対象者は年内に支給。(11億5,269万8千円：先行給付金分除く)

市政に関する

一般質問

11月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、11月29日から12月2日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（2月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（2月中旬配信予定）からご覧いただけます。

一般質問 通告要旨

代表質問 ※は持ち時間40分、それ以外は20分。（ ）内は会派名。

中村孝治（さくら会）※	
①市長の政治姿勢（行財政運営等）	④地域振興
②新型コロナウイルス感染症対策	⑤当面の課題
③安全・安心のまちづくり	
押木孝和（公明党）※	
①新型コロナワクチン接種について	
②新型コロナウイルス感染症の第6波に備えた自宅療養者への支援について	
③インフルエンザワクチン接種について	
④子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）について	
⑤介護給付費財政調整交付金について	
⑥飲酒運転根絶に向けた施策について	
⑦水道事業について	
徳永由美子（自由民主さくら）※	
①子ども基本法と子どもの権利条例について	
②発達障害について	
③医療的ケア児支援法に基づく自治体施策について	
④地域の課題と要望について	
⑤学校給食の有機食材の導入	
⑥令和元年度の台風・大雨以降とコロナ禍での災害対策	
五十嵐智美（市民ネットワーク）	
①市長の政治姿勢について	
②今年度からの介護保険制度について	
藤崎良次（ひまわり会と市民オンブズマン）	
①市長の政治姿勢	④福祉について
②消防団について	⑤発注について
③手数料・使用料の値上げ	⑥教育について
萩原陽子（日本共産党）※	
①「佐倉市ゼロカーボンシティ宣言」について	
②気候危機と食の安全について	
③子育て世帯の負担軽減について	
④新佐倉図書館の開館準備状況	

個人質問

玉城清剛	
①環境対策について	③プラスチック廃棄物について
②分別ごみの啓発について	
高橋とみお	
①GIGAスクール構想について	③市保有の施設の今後について
②災害弱者避難個別計画について	④パブリックコメントについて
稲田敏昭	
①介護給付費交付金算定誤りについて	③鳥獣対策について
②安全な道路について	④使用料・手数料について
川口絵未（市民ネットワーク）	
①佐倉市のデジタル化について	
②いきいきとした子どもを育てる教育について	
松島梢（市民ネットワーク）	
①学校給食への有機農産物導入について	
②HPVワクチンについて	
③コロナ禍における学校生活について	
宇田実生子（ひまわり会と市民オンブズマン）	
①持続可能な佐倉市のための行財政改革	
②市民サービスの充実	
③国登録有形文化財（建造物）旧今井家住宅について	
④環境問題について	

※上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会
中村孝治

令和4年度当初予算編成方針について

問 令和2年度決算では、実質単年度収支が5年ぶりの黒字となり、経常収支比率も改善。令和4年度当初予算はどのような方針で編成に取り組むか。

答 市民の安全・安心を守るため、感染症対策や通学路の安全対策等に万全を期す。福祉や子育て支援等の重点施策、道路・公園・学校等の整備や、コロナ収束後を見据えた経済活性化にも配慮。
限りある財源を有効に活用し、令和4年度が、市民に明るさと笑顔を取り戻す

転機となるような予算を編成したい。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 ワクチン接種は、11月末には希望者の1、2回目接種を終える見込みとこのとだが、これまでの実績は。また、3回目接種の予定は。

答 接種対象者約16万人のうち、2回目接種を終了している方が13万8665人で86・7%（11月26日時点）。11月末には約87%が接種を終える見込み。
3回目接種は、医師会及び医療機関と調整し、接種体制の準備を進めている。現在、医療従事者への接種は12月1日から、高齢者への接種は令和4年2月以降に開始予定だが、国の方針やワクチンの供給量によって変更の可能性も。

今後の観光施策について

問 コロナ禍に進んだ「マイイクロツリズム」で地域の良さが見直される中、多様な佐倉の魅力を掘り起こし、今後の観光に有効活用してはどうか。

答 市内観光資源を掘り起こし、多様な魅力を提示していくことは、地域の活性化にも役立つと考える。白井地区で毎年2月に行われる「雷電」の法要に合わせ、物産展とスタンプラリーの開催を計画。これを多様な佐倉の魅力を伝える第一歩として取り組む。
マイナンバー交付状況及び証明発行について
問 証明書の自動交付機は、コンビニ交付普及などにより一定の役割は果たしたという考えもあるが、どのような検討をしているか。

自動交付機は、県内の多くの自治体で既に廃止。機器の新規調達や保守管理が困難であるため、令和4年12月の契約満了をもって廃止する方向で検討中。廃止にあたり、自動交付機の代替手段となるコンビニ交付の利便性等について周知・啓発を図る。

介護給付費財政調整交付金について

問 介護給付費財政調整交付金の算定誤りに関する報道発表があったが、発生の経緯とその要因は。

答 交付金算定に用いる基礎数値の取り違いにより発生したもの。
また、算定から申請までに適切な確認作業が行われなかったこと、高齢者施設で発生したクラスター対応に追われ、一時的に人員不足が生じていたことも要因。

足が生じていたことも要因。



公明党
押木孝和

新型コロナウイルス第6波に備えた自宅療養者への支援

問 今まで県から市に個人の情報提供がなかったが、今回、県と締結した覚書の内容について伺う。

答 市が自宅療養者等への健康観察及び生活支援を実施する際に、必要な個人情報等を県から市に提供されることとなった。
問 保健所と市が協議した具体的な支援内容を伺う。
答 在宅確認が取れない方に対し、市職員が自宅を訪問し安否確認等を実施する。子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）
問 今も年間約1万1千人が子宮頸がんにかかり、約

2千8百人もの女性が亡くなっている。平成25年6月より積極的勧奨を差し控えたため、7割近くあった接種率が1%未満まで激減。国は昨年10月と今年1月の2度、市に対し、定期接種対象者への情報提供の徹底を求めた。それに対する市の対応と今後の予定を伺う。

答 昨年11月に高校1年生の対象者753名、今年3月に小学6年生、中学3年生の対象者2774名に個別通知を送付した。結果、高校1年生においては令和元年度1・1%の接種率が令和2年度は、8・4%まで増加した。今後は新たな対象者へ順次個別通知を予定している。

飲酒運転根絶に向けた施策
問 6月の八街市の飲酒運転事故を受けて、市として



飲酒運転根絶に向けた施策について伺う。

答 毎月10日と春夏秋冬の交通安全運動期間に啓発活動を行っている。議員紹介の飲酒運転根絶宣言をはじめ、市内飲食店へ啓発資料の配布など市民の意識醸成や周知啓発を検討していく水道事業について

問 佐倉市の水道料金は高い、との声があるが、どの程度の水準なのか伺う。

答 多くの家庭で使用している口径20mmで1か月の県平均料金は、4080円、来月4月以降、料金改定後の市の平均料金は、3770円と県平均より低い水準となっている。

古い水道メーター(廃棄メーター)の利用について

問 水道メーターは8年ごとに交換しなければならぬが、古いメーターをどのように活用しているか伺う。

答 交換した古いメーターは、リサイクルとして活用している。新品を納入する際に同数の使用済みメーターを下取り品として納入業者に引き渡し、清算購入する、バーター購入方式を採用している。

問 市場動向から、下取りと購入を分離発注すること、下取り価格の上積みが期待できるのでないか、他市でも行っている分離発注制度の導入を伺う。

払いについては、部材の市場価格の変動が大きいことから価格が安定しているメーター方式を採用。今後も他市の状況や社会情勢等を注視しながら経営上最も有利な方法を採用していく。



西志津小の通学路について

問 西志津小の通学路歩道にグリンベルトの導入、徐行の文字が消えている箇所、補修、車に対して注意喚起する看板の設置など対応箇所を追加していただきたい。

答 実施までにはしばらく時間を要することから、当面の措置として注意喚起する電柱幕を設置していく。

問 その風付近の交差点信号機の通学路側の青信号時間延長について。

答 信号機の仕様変更の提案を佐倉警察署へ伝える。

西志津地区のバス路線

問 勝田台・長熊線開通後も公共交通経路の大きな変更はなく、西志津方面から東邦大学佐倉病院などへは、直線道路でありながらバスルートの改編などは行われていないため、さらなる利便性の向上につなげていただきたい。

答 引き続き路線バス事業者に対して要望していく。上志津十字路の歩道整備 以前も質問したが、四

街道上志津の県道と、交わる水道道路でのベビーカーの利用や高齢者の生活動線の安全確保ができていない。

答 既存の路肩をカラー塗装する整備を予定しているが、他の路線も含め整備計画全体に遅れが生じている。

問 欧米先進国やアジアの多くの国に比べて日本でも有機農産物がなかなか普及しないのは、安定した売り先がないため農家が有機農業への転換に二の足を踏んでいるのが一因と考えられている。学校給食に有機農産物が採用されれば、安定した売り先が確保されるため、有機農業に転換する農家が

増え、付加価値の高い有機農産物は輸入農産物との価格競争を避けることができ

るため、先進国で最低水準の食料自給率の向上につながるなどの期待もある。学校給食への導入に向けた無農薬米栽培について支援していくべきである。

コロナ禍での災害対策

問 車中泊避難を見越して避難所の駐車スペースの利便、市内施設の駐車場の確保、スーパーや店舗との車中泊避難者用の受入れ協定などをあらかじめ検討しておくほうが行政としても避難コミュニケーションを把握でき、支援物資の提供や健康相談なども対処しやすいのではないか。

答 コロナ禍における災害対策の一つとして、車で避難された方々に対する把握支援は重要な課題である。令和3年3月に山一電機株式会社と「災害時等における施設の一時利用に関する協定」を締結。広大な敷地を利用した自家用車の駐車及び車中泊を目的とした駐車場の利用なども含まれている。今後も同様の協力協定について研究をしていく。

避難所運営マニュアルを策定したばかりだが、地域避難生活運営マニュアルへと改編することも念頭に置き、地域全体への避難生活に対する公平な支援の確保を求める。

問 避難所運営マニュアルを策定したばかりだが、地域避難生活運営マニュアルへと改編することも念頭に置き、地域全体への避難生活に対する公平な支援の確保を求める。



市民ネットワーク 五十嵐智美

コロナ感染症対策

問 オミクロン株が出現し、第6波に備えた体制整備を今こそ行う時。第5波では感染者の住所が分からない状況だったが、9月に県との覚書で住所が提供されることとなり、感染者の支援が可能に。安否確認だけでなく医療機関や訪問看護ステーションと連携し、医療体制を整備すべき。

問 保健所をはじめ医療機関と連携し県に地域医療提供体制確保をお願いする。

困窮者支援について 生活資金を貸し出す特

例貸付の小口や総合支援資金を多くの市民が利用。来年度から返済開始となるが相談窓口の拡充等の対策が求められる。対応を伺う。

問 厚労省は「生活保護の申請は国民の権利です」と広く呼びかけている。同様に行ってほしいがどうか。

答 国等を参考に研究する水道料金の値上げについて

問 八ッ場ダム完成による受水増で費用が増え来月4月に料金が値上げに。コロナ禍で生活が苦しい市民が増える中、値上げ回避策の検討を。印広水が支払う行政財産使用料に普通財産の規定を用いている。見解は。

問 県と印広水で協議をお願いするものと考える。

問 今はコロナ禍の非常事態。低金利企業債を復活させ財源とする。いかがか。

問 持続可能な経営のため原則企業債を増やさない。

ひまわり会と市民オンブズマン 藤崎良次

22名、待機者は9名。入所の流れなどは。

問 入所するには、障害支援区分の認定が必要。希望等により契約しサービスに進む。障害種別による利用制限はない。おおむね障害支援区分4以上の方が対象。

問 障害者支援施設は、施設に空床発生時に緊急性等により入所者を決定する。申込者は数か月から十年位の待機もある。市内では支援区分4以上470人、50才以上支援3以上は280人。

問 本年4月の通知内容は。災害出動報酬は一日8千円、報酬は団員へ直接支給、条例改正は来月4月等。

問 基準財政需要額は。出動費に対する需要額は3760万円当初予算との差は、1928万円。

問 約2000万円も消防団への支払いが少ない。住民票等の値上げは誤りだ

問 人件費は実態で計算すべき

問 人件費は僅か減少だが。総コストを計算した上で見直しを図っていく。

問 人件費が値下がりしているのに、手数料を値上げするのは大きな誤りだ。



日本共産党 萩原陽子

CO2排出ゼロ目指す取組

営農型のソーラーパネルは農地を守りながらエネルギーの地産地消を目指す有効な取り組み。積極的に取り組む価値があるので。

適宜情報提供していく。ペットボトルの収集方法の変更で中間処理業者への支払いが増えるが、圧縮して燃やすならばCO2削減にならない。ゴミの減量化キャンペーンが必要。

中間処理業者の処理を追跡し把握に努める。気候危機と食の安全

日本の食糧自給率37%、千葉県は自給率26%で全国34位。耕作放棄地をなくす取り組みとして大豆への転作に補助金はあるか。

市の事業で行っている。耕作放棄地を増やさなため取り組みはあるか。

新規就農者への支援を行っている。

新規就農者の多くが、有機農業を志向している。有機JAS認証の取得には手間と費用が必要で取得が進まないが、農家負担のないPGS認証を研究し市の援助で進めてほしい。

市内小中学校の給食での有機農産物の使用状況は把握されているか。

2軒の農家から里芋、

ニンジン等の納入がある。子どもたちの健康と保護者の安心に配慮するために有機農産物の利用促進が必要だが、いかがか。

関連する部署との協議を行っている。

子育て世帯の負担軽減

市が中学3年まで助成する子どもの医療費を高校生まで対象とする自治体が増えている。佐倉市での実施に必要な費用はいくらか。

年間8千万円を見込む。子育てしやすいまちづくり施策として拡充を。

多大な費用が掛るため現状を維持していきたい。

一時しのぎの給付金支給を繰り返す政府に対し、子どもの医療に責任を持つ制度を設置するよう要請を。

給食費の無償化について

義務教育は無償が原則だが、隠れ教育費として、様々な費用が発生している。給食費は年間1人約6万円。学校給食は教育の一貫であり、無償化を求める。

就学援助もあり、給食費無償化は予定していない。

佐倉産米を100%使っている給食に市が補助し、給食費軽減と米価暴落で大変な市内農業の両方を支援するよう検討を求める。

新佐倉図書館開館準備状況

書架等の備品が2億1010万円で落札されたが、他の図書館との比較を聞く。佐倉南図書館は338

7万円、志津図書館は2948万円。

手描き友禅の反物を書架に貼り付けると仕様書にあるが、岡田設計の企画か。

設計業務委託の中で出た企画である。

財政不足を理由に様々な施策に我慢を強いているなかで、新佐倉図書館には大盤振る舞いとなっている。企画も費用も岡田設計任せで、丸投げではないか。

個人質問



玉城清剛

環境対策について

COP26の国際会議で地球温暖化対策が討議され、2050年までに温室効果ガスゼロ達成を目標に掲げた。国際状況に鑑みて市の温暖化対策の方策を伺う。

佐倉市はゼロカーボンシティ宣言をした。

今後、佐倉市環境基本計画等の見直しを進め、脱炭素化に向けた施策を検討する。

埋立てごみは、清掃工場で膨大な量の選別作業をしている。危険作業のため削減が必要。市民への分別廃棄の啓発について伺う。

来年度予定の家庭ごみ収集変更に併せ、分別ルールの周知を徹底する。

スプレー缶が穴開けされてない。安全な収集と穴開け方法啓発の検討を願う。

処理時発火することがあるため、風通しの良い所で器具を使用し中身を空にしての排出を周知している。

破損ビンとコップ類をビン収集袋にまとめて排出する方が楽で市民の理解が得られる。市の見解を伺う。

民間施設で再生されびんや路盤資材に利用。コップ類との一括収集は難しい。

紙製とプラ製容器包装の分別と新聞紙等は収集対象外とした理由を伺う。

資源利用とごみ減量化を図り、新聞紙等は資源回収団体等が回収するため。

廃プラ、特にペットボトルのリサイクルや資源確保と環境対策について伺う。

天然資源消費抑制のため、来年度から集積所回収で400トンのリサイクル。環境負荷低減に取り組む。

災害弱者の個別計画



高橋とみお

「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が施行された。そこで、災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障害者等を登録した「佐倉市避難行動要支援者名簿」と、当該名簿をベースとした計画の策定状況について質問する。

当該支援者名簿は、現在どのような基準で作成され、どの程度の人数が見込まれ、誰とどのように共有しているのか伺う。

災害対策基本法に基づき、災害時避難行動要支援者名簿を、毎年1月1日を基準日に作成。人数は3269人。内、情報提供の同意を得られた平常時の名簿の人数は2347人。4月以降、自治会、自主防災組織、民生委員等に覚書を締結のうえ提供している。

避難行動要支援者ごとに策定される個別計画の検討状況について伺う。

個別避難計画の作成には、名簿記載者各人に聞き取りが必要だ。名簿記載者2347名の計画作成を一斉に行うことは困難なため、避難の優先順位が高い方から進めていく予定だ。計画策定に当たっては、避難先、支援を行う方、関係者間での情報共有手段等の検討が必要だ。また、福祉避難所における必要な物資、人員の整備等についても課題と認識している。

本人は多くの課題が山積していることが明らかとなった。本計画を実行性のあるものにするため、関連する人員の増強を要望する。

介護給付費財政調整交付金算定誤りについて

算出の誤りは今年度に限られたものか。

再検証したが令和2年

度以外過誤のないことを確認した。

介護保険料の値上げや厳しい介護認定の結果が基金残高25億円超ではないか。こんなに必要なのか。

今後要介護者の増加に伴い、介護保険料の上昇が想定される。計画的に財源に充当していく。現在の介護保険料算定段階においても8億5千万円を取り崩す予定。

再発防止対策は。

事務処理マニュアルを見直し、チェックリストを作成。複数担当によるダブルチェックができる体制を整備していく。

鳥獣被害対策について

鳥獣被害対策実施隊の設置について進捗状況は。

来年度設置に向け、千葉県・佐倉猟友会などと必要な体制の整備や人員確保など準備を進めている。

個人負担が発生しないよう、必要経費の補助についてどのように考えているか、捕獲従事者を増やすための取り組みは。

鳥獣被害対策実施隊を設置した際、非常勤公務員となり、狩猟税の免除や公務災害が適用され、報酬が支払われる。併せて国からの交付金を活用し、捕獲従事者の負担軽減に努める。捕獲従事者を増やすために地域住民を対象に鳥獣被害対策の講習会や研修会を開



催していく。



川口絵未 市民ネットワーク

ガバメントクラウド先行事業（佐倉市×デジタル庁）

情報の管理主体は佐倉市。実情に基づいた独自施策ができるよう標準化基準を策定し、カスタマイズ可能にする必要があるのでは。

国が標準仕様を作成し、各事業者が開発するため、市が独自に改修できない。

全国的な運用に向け、特にカスタマイズの要望を。本人の同意なしに自治体や国、企業が個人データを使うことはないか。

法令に定めがある場合を除き、提供されない。

子どもが自分を守るために暴力や性被害などから子どもが自分を守る被害防止プログラムCAPは、人間が生まれながらに持っている権利として「安心・自信・自由」があることを演じながら学び、被害にたいそうな際、抵抗する大声をあげる練習もする。一度体験すれば何十年も役立つ貴重な内容と実感した。小中学校全ての子どもに実施を。

一斉導入の予定はない。学校での性暴力が近年ますます問題化。対策強化のため今こそ導入を。

道徳的な価値観を押し付けるのではなく、自立した有権者や社会人になるように主権者教育を取り入れてほしい。酒々井学では、小6・中3の夏休み後に、町の改善点を一人ずつ発表し、模擬投票で選ばれた代表者が模擬議会で質問、町は改善に向け対応する。

佐倉学に限らず教科や総合的な学習で取り組む。

木更津市は人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に地域一体となつて取り組むオーガニックなまちづくり条例を施行した。お米は長期保存でき大きさをばらつきもなく生産しやすいので、まず学校給食の有機米導入に取り組んだ。佐倉市も有機米から学校給食に導入してはどうか。

課題がある。先進的な取り組みは調査研究する。

学校給食の有機化については多くの議員が質問したが、検討しますという回答で一向に進まない。いすみ市や木更津市は市長が子どものために決断した。トップがやろうとしなければ進まないが市長の見解は。

休耕地を利用し地域を限定して農薬を使わない等、話を聞きながら考えていく。HPVワクチンについて

子宮頸がんワクチンは、定期接種開始直後に重篤な

副反応被害が頻発し、接種を個別に呼びかける積極的勧奨を中止した。被害者の治療や救済がされない中、積極的勧奨が来年度から再開される。従来通り最初から予診票を郵送せず、接種希望者に対し、窓口で副反応についてしつかり説明してから渡すべき。見解は。

予診票は郵送する。希望者には電話等で説明する。

副反応が起きた際の協力医療機関として千葉大附属病院があるが、対応が悪く新たに診てもらった被害者はいないと聞いたがどうか。

聞いていない。被害者が出たら、現状を把握する。



松島梢 市民ネットワーク

学校給食へ有機食材の導入

木更津市は人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に地域一体となつて取り組むオーガニックなまちづくり条例を施行した。お米は長期保存でき大きさをばらつきもなく生産しやすいので、まず学校給食の有機米導入に取り組んだ。佐倉市も有機米から学校給食に導入してはどうか。

課題がある。先進的な取り組みは調査研究する。

学校給食の有機化については多くの議員が質問したが、検討しますという回答で一向に進まない。いすみ市や木更津市は市長が子どものために決断した。トップがやろうとしなければ進まないが市長の見解は。

休耕地を利用し地域を限定して農薬を使わない等、話を聞きながら考えていく。HPVワクチンについて

子宮頸がんワクチンは、定期接種開始直後に重篤な

副反応被害が頻発し、接種を個別に呼びかける積極的勧奨を中止した。被害者の治療や救済がされない中、積極的勧奨が来年度から再開される。従来通り最初から予診票を郵送せず、接種希望者に対し、窓口で副反応についてしつかり説明してから渡すべき。見解は。

予診票は郵送する。希望者には電話等で説明する。

副反応が起きた際の協力医療機関として千葉大附属病院があるが、対応が悪く新たに診てもらった被害者はいないと聞いたがどうか。

聞いていない。被害者が出たら、現状を把握する。

宇田実生子 市民オンブズマン

職員人件費上昇を理由に住民票発行等の手数料や公民館等の利用料の値上げを来年4月から実施する。

一方平均給与月額も過去6年間千葉県内トップ3、令和2年は第1位という現状。市民への説明を求め。

給与月額引き上げ要因は、40代後半〜50代前半の年齢の高い職員が職員全体の4割に及ぶこと、4月の時間外勤務が多いことが影響していると考える。働き方改革の推進による時間外勤務の縮減、長期的には

職員の年齢構成の偏りの是正に努めるなど、給与制度の見直しを図っていく。

佐倉市の時間外勤務手当は4月分のみではなく、年間を通して高い。第6次行政改革を着実に実施するよう引き続き努力を求め。

市役所における正職員と会計年度任用職員の格差是正

健診の受診対象から外れた会計年度任用職員がいる。受診した場合にかかる費用は約103万円。格差是正のため負担できないか。

対象者変更は国の指針に基づくもの。二次予防としての健診も重要だが、自ら取り組み一次予防も重要。

正職員同様、意欲を持って働いてもらえる施策を。認知症・徘徊高齢者等への見守り事業の拡充について

QRコード読み取り式見守りシール導入を求め。

導入済みの自治体の状況について、その効果等を含め調査をしていく。

ガバメントクラウドとは、政府の情報システムについて、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境のこと。

各自自治体で、ばらばらだった情報システムの基盤を共通化し、政府と自治体間のデータを移行しやすくしたり、クラウド化によって運用コストを減らしたりすることが目的。

迅速なサービス、市民の入力の手間を削減、高いセキュリティなどがメリット。佐倉市は、デジタル庁が公募した「ガバメントクラウド先行事業」に採択され、システムの移行と運用にかかる効果や課題の検証を行う。

主な議案の概要

11月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第4号、第23号は一般会計・特別会計の令和3年度補正予算、議案第5号〜第14号は条例の制定、議案第15号は契約の締結、議案第16号は財産の取得、議案第17号は指定管理者の指定、議案第18号〜第22号と諮問第1号は人事に関する議案です。

議案第1号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ18億5949万2千円を増額するもので、補正後の予算総額は51億2244万8千5百55円。

歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金などの増額。

歳出の主なものは、給与改定・人事異動等に伴う職員人件費の補正、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業（中小企業工員事業など）の増額。

継続費は、明神橋（市道6-108号線）災害復旧に伴う支障施設移設事業の追加。

繰越明許費は、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業ほか1件の追加。

債務負担行為の補正は、複数年度で契約を締結するもの17件、令和4年度において4月当初から実施する業務について部局ごとに分けて設定するもの11件を追加。

議案第11号 佐倉市民防災啓発センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

利用者の減少及び設備の老朽化等の状況を踏まえ、佐倉市民防災啓発センターを廃止するもの。

議案第15号 契約の締結について

議会の議決を経て締結した明神橋災害復旧工事について、修正設計に伴う工事内容の変更が必要が生じたため、契約金額を1326万4900円増額する変更契約を締結するもの。

議案第16号 財産の取得について

令和5年3月に開館予定の夢咲くら館内に設置する備品について、2億1010万円をもって、金剛株式会社東京支店から取得するもの。

議案第17号 指定管理者の指定について

南部よもぎの園の指定管理者について、令和4年4月1日から令和10年3月31日まで、社会福祉法人千手会を指定するもの。

議案第23号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

令和3年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に位置付けられた事業を実施するため、歳入歳出それぞれ12億2846万1千円を増額するもので、補正後の予算総額は524億7331万6千円。

歳入は、国庫支出金の増額。

歳出は、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業及び子育て世帯臨時特別給付金支給事業の増額。

議案第9号 明神橋（6-108号線）災害復旧工事に係る専決処分事項の指定について

明神橋災害復旧工事の遅延による市民生活及び経済活動への影響を最小限にするため、当該工事に係る変更契約の金額が4500万円以内の場合には、専決処分（☆下記参照）を可能とするもの。

議案第1号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

国の令和3年度補正予算に計上された住民税非課税世帯等及び子育て世帯に対する給付について、早急に事業着手する必要があるため、補正予算として計上するもので、歳入歳出それぞれ31億9936万2千円を増額する議案です。

歳入は、国庫支出金及び繰入金金の増額。

歳出は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業及び子育て世帯臨時特別給付金支給事業の増額。

☆専決処分とは、本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

議案に対する会派等の意見

たぐひ会

議案第1号・第23号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

小学校通学路の安全対策に資する「交通安全施設整備事業」、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方への支援となる「中小企業エール事業」や「新帯臨時特別給付金支給事業」などの事業が計上されており、時宜を得た予算案と判断し、賛成した。

なお、子育て世帯への臨時特別給付金は、国の方針が二転三転する中、現金一括給付を即断し、臨時会を招集、令和3年中の給付を実現した。事業の目的や背景、市民ニーズを的確に捉えた対応であると評価する。

議案第7号 令和3年12月における市長の給料の特例に関する条例に賛成
介護給付費財政調整交付金算定に係る事務誤りにより当該交付金の額が過少となったことの重大性に鑑み、市長の給料を減額しようとするものであり、他自治体における同様事案への対応例を踏まえた妥当な措置と判断し、賛成した。

端緒となった事務誤りについては、市役所全体に水平展開し、全庁を挙げて再発防止に万全を期していた。また、交付金の原資も国民が納めた保険料

であることを踏まえ、改めべき点があるのならば、国等の関係機関に対して働きかけるなど、制度改正に向けて積極的に対応するよう強く求める。

議案第15号 契約の締結に賛成

令和元年10月の大雨の影響により被災した明神橋の復旧工事に係る変更契約である。発災後2年が経過したが、現場の地質状況などの事由により未だ完了に至らず、その間、橋が利用できない状況が継続している。橋は、市民生活や事業活動に欠くことのできない重要な社会基盤であり、一日も早い復旧が望まれることから賛成した。

議案第16号 財産の取得に賛成
現在建設中の新佐倉図書館に設置する書架等の備品の取得に係る議案である。

新図書館は、新町地区のランドマークであり、地域活性化の拠点として期待される施設である。地域に親しまれ、多くの市民がより快適に利用できる図書館となるために必要な備品整備であると判断し、賛成した。

議案第9号 専決処分事項の指定に賛成
「専決処分事項の指定」とは、議会がその議決により、長の専決できる事項を指定して委任し、長が議会に代わって処分することをいう。

本案は、市長からの依頼を受け議会運営委員会から

提案したもので、明神橋災害復旧工事に係る変更契約の金額が4500万円以内の場合には、専決処分を可能とするものである。

明神橋の通行止めにより、既に周辺企業には多大な負担を強いており、被災箇所が拡大しかねない状況下で市民も不安を抱えている。

工事の遅延による市民生活及び経済活動への影響を最小限にするためには必要な措置と判断し、賛成した。

公明党

議案第1号令和3年度佐倉市一般会計補正予算に賛成
議案第1号は、新型コロナウイルス感染症対策の要であるワクチン接種について、市民が3回目を円滑で安全に受けるための、とても大切な費用が盛り込まれている。

またコロナ禍で打撃を受けている中小企業に対する市独自の支援策「中小企業エール事業」、利用者の減少等で大きな影響を受けている公共交通事業者に対する「地域公共交通対策事業」通学路の安全を確保するための「交通安全施設整備事業」、他にも「障がい者介護や訓練等への給付」、「生活保護費への給付」、「民間保育園への助成」、「明神橋災害復旧に係る事業費」など、いずれも市民の安全・安心な生活の確保に係わる重要な予算であり、可及的速やかに取り組むことを要望し賛成する。

臨時議会・議案第1号令和3年度佐倉市一般会計補正予算に賛成
「子育て世帯臨時特別給付金支給事業」は、公明党緊急要望の通り、クーポン5万円分を現金支給し、令和4年4月1日生まれの新生児も対象に加えたことを高く評価する。迅速かつ確実に届くよう、あらゆる広報媒体を活用し周知すること。

自由民主党

議案第1号令和3年度佐倉市一般会計補正予算について以下の点を申し添え賛成致します。
令和3年度佐倉市一般会計補正予算において、明神橋災害復旧工事が災害発生より2年経った現在でも思うように工事が進んでいない状況を鑑み、設計等、工事内容の見直しを求めます。交通安全施設整備事業においては、点検個所の早急な安全対策が不可欠なため、関係各所と連携し効率的かつ効果的な対応を求めます。中小企業ささエール給付金は、対象者へ出来るだけわかりやすい案内と、申請期限が迫っていることから、ホームページ等で十分な周知をお願いします。

また議案第11号においては、佐倉市民防災啓発センターの廃止について、ミレニアムセンター自体が佐倉市の玄関口ともいえる駅前立地でもあることから、建物全体の活用について公民連携の視点で包括的に

考えていくことを求めます。子育て世帯臨時特別給付金は、10万円を年内現金一括給付に賛成。臨時議会を開き、保護者ニーズに応えた形として評価します。また住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金については、必要な世帯に確実に届けられるよう求めます。

市民ネットワーク

反対する主な理由
議案1号①職員の期末手当減額は地域経済に影響する。来年度から減額される会計年度任用職員は、不安定な立場で低い賃金・待遇であり減額するべきではない。

②健診データを将来的にマインバーと連携するため保健情報管理システム改修。連携が増えれば他者が情報を扱う機会が増え本人の健康情報が流出・漏えいする危険があり、デメリットが大きすぎる。③コロナ禍で手数料・利用料の値上げに6月議会で反対したが、それに関わるシステム改修やレジ購入がある。

議案8号も同様に手数料の値上げが含まれているため。議案16号新佐倉図書館の造作備品購入2億1千万円。岡田設計が作成した103枚もの特記仕様書による特注の書架・机等を1社99.4%の応札で購入。建設費が地下化で増額となる中、さらに高額な特注の備品購入に反対する。

また議案第11号においては、佐倉市民防災啓発センターの廃止について、ミレニアムセンター自体が佐倉市の玄関口ともいえる駅前立地でもあることから、建物全体の活用について公民連携の視点で包括的に

ひまわり会市民オンブズマン

明神橋と谷津橋工事の問題
明神橋関係の開発は、三菱地所が施工したが、一昨年の大雨により災害が発生。谷津橋のPCB塗装は、道路公団が施工した。これらの復旧、修理は佐倉市のみの責任とせず、法的責任を調査する必要がある。

市長給料9・4万円減反対
介護保険交付金の7000万円損失に関して、佐倉市及び市長の反省は不十分。よって、市長給料9・4万円1か月間の減額に反対。新佐倉図書館備品購入反対
入札者は1社であり、落札率は99・5%。適正な競争が行われておらず、2・1億円の購入に反対。

日本共産党

議案第16号財産の購入反対
新佐倉図書館等の造作備品の購入費2億1010万円。1社しか応札せず、落札率は99・4%。入札に全く競争が働いていない。特注品が多く、ほぼ岡田設計の提案通りで手描き友禅の絹の布を書架に貼ると言うが反物の金額は契約の内訳書に明記されていない。設計者任せの購入契約に反対する。

議案第17号の指定管理者は低賃金労働を生むため反対。議案第3号第4号に賛成
脱炭素社会に向けて石炭火力発電に依存しないよう求める3号とジェンダー平等への法整備を求める4号の意見書を国に提出するべき。

会派に属さない議員

議席3番
18歳以下への総額10万円給付。国の方針で一括給付が可能となった後速やかに臨時会を招集し、児童手当対象の保護者へ年内一括給付の道筋をつけた市長の決断に敬意を表したい。本件について、年内給付が間に合わない高校生等の保護者への周知の徹底を要望する。

議席11番
子育て世帯臨時特別給付金支給事業で18歳以下の子どもに1人につき年内に現金で10万円一括給付することに賛成。卒業式、入学式、新学期の準備、また、自治体も年度末は忙しい時期。事務費がかさむクーポン券配布を止め、迅速にできる現金給付は国民の声である。

議席12番
相次ぐ暴風雨やコロナ禍で市民の生活は、困窮している。議案第1号及び議案第5号・6号に賛成する。市長、市議会議員、市職員報酬及び期末手当の引き下げは、当然であり対応が遅い。市長・議員・市職員は公僕であることを常に忘れない事。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和3年11月22日、12月6日 / 場所：全員協議会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案5	議案6	議案7	議案8
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案9	議案10	議案11	議案15	議案16	議案23
可決	可決	可決	可決	可決	可決

議案12件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

市民防災啓発センターについては、市民の防災意識の向上に寄与するなど、当初の施設目的は達成したものと考える。しかしながら、防災意識を醸成するための取り組みは継続すべきであることから、引き続き、地域の防災訓練を積極的に支援していただきたい。なお、支援するに当たっては、センターで培ったノウハウ、利用可能な設備を活用し、より効果的かつ実践的な訓練となるよう努めていただきたい。
あわせて、施設スペースの後利用においては、駅前の立地などを活かし、効率的かつ効果的な活用が図られるよう引き続き検討していただきたい。

〔委員〕 ○敷根文裕、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、鍋田達子、木崎俊行、高木大輔

文教福祉常任委員会

開催日：令和3年12月7日 / 場所：全員協議会室

《審査結果》

議案1	議案4	議案12	議案17	議案23
可決	可決	可決	可決	可決

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

今後の新型コロナウイルスワクチン接種対策事業においては、高齢者1回目の予約時に生じた課題を踏まえ、円滑な予約体制を整備し、希望する市民が安心してワクチン接種ができるようにしていただきたい。あわせて、予約が困難な方への対応も引き続き行っていただきたい。

〔委員〕 ○岡村芳樹、○徳永由美子、宇田実生子、稲田敏昭、平野裕子、石渡康郎、中村孝治

経済環境常任委員会

開催日：令和3年12月8日 / 場所：全員協議会室

《審査結果》

議案1	議案3
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

中小企業エール事業については、支援金給付要件の周知を図っていただくとともに、申請手続きに当たっては、書類作成の支援など引き続き丁寧な対応に努めていただきたい。

〔委員〕 ○爲田 浩、○山本英司、高橋とみお、押木孝和、密本成章、五十嵐智美、藤崎良次

建設常任委員会

開催日：令和3年12月9日 / 場所：全員協議会室

《審査結果》

議案1	議案13	議案14
可決	可決	可決

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

小学校通学路の安全対策については、引き続き関係機関との連携、協議を進めるとともに、国等の補助金の動向も注視しながら、一日も早く実施していただきたい。

〔委員〕 ○久野妙子、○斎藤明美、川口絵未、石井秀明、岡野 敦、玉城清剛、萩原陽子

2月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 2月15日(火)
- ◆招集日 2月21日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 2月28日(月)～3月3日(木)
- ◆常任委員会 3月7日(月)～10日(木)
- ◆予算審査特別委員会 3月14日(月)～17日(木)
- ◆最終日 3月22日(火) 午後1時から

日程は変更になる
こともありますので、
詳細につきましては
議会事務局まで
お問い合わせ
ください。
議会事務局
☎043-484-6254

一本会議（招集日・一般質問・最終日）の映像

- インターネット中継：開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。
- CATV議会放映：開催日翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

アンケートへのご協力のお礼

佐倉市議会では、コロナ禍における市内中小事業者の経営実態と今後の事業展開を把握するため、11月初旬から12月20日までの期間に、「佐倉市中小企業事業継続支援金」の申請者（約2,000名）の方へアンケートをお願いしたところ、403名の方にご回答いただきました。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

なお、集計・分析結果は、とりまとめ次第、公表させていただきます。



議会百景

コロナ禍で、昨年度の委員会視察は中止でした。今年度は初の試みとなる「オンライン視察」で実施することが出来ました。限りある時間の中で有意義な実りある学びとなりました。今後に活かしていきたいと思えます。広報公聴委員となって約1年。「身近な市議会」「魅力ある議会だより」を目指して、これからも全力で取り組んで参ります。

（広報公聴委員 鍋田達子）

当委員会は本誌の編集に加え、意見交換会の開催が大きなミッションとなつていきます。コロナ禍で対面開催は断念しましたが、今年度はウイズコロナを見据え、アンケートという形で開催させていただきました。市内中小企業の皆さまからいただいた貴重なご意見を、しっかりと分析・把握し、議会活動に活かしてまいります。

（広報公聴委員 密本成章）

質問時間の短縮、議席間隔の拡大、傍聴の自粛、議会報告会のアンケート変更などをコロナ禍対策として、やむを得ず行つてもう2年。オンライン会議など様々な対策を検討したところですが、佐倉市議会会議規則では、「議員は議事堂に参集しなければならぬ」とあり、まさに想定外の出来事です。早く通常の議会運営に戻りたいところです。

（広報公聴委員 岡野 敦）